

建学の精神	<ul style="list-style-type: none"> 一、 本学ハ日本精神ヲ主義トスル 一、 本学ハ祖国ノ指導者養成ヲ旗幟トスル 一、 本学ハ徳ヲ樹ツルコトヲ理想トスル
教育理念	山梨学院大学は、広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成する
教育目標	「たくましく生きる力」を育成すること

ディプロマ・ポリシー

山梨学院大学では、「『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学の学位授与方針とする。

- DP1 「実践的な知識と技能」を備え「創造力と行動力」を発揮して社会に貢献する基盤が身についている。
- DP2 多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。
- DP3 自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。
- DP4 自己を理解し、他者との良好な関係性を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。

カリキュラム・ポリシー

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

- | | |
|------|---|
| 教育内容 | <ul style="list-style-type: none"> 1 総合基礎教育科目においては、各科目群の履修を通じて、全学DPに掲げられた能力を身につける。 2 専門教育科目においては、DP1に掲げられた「実践的な知識と技能」の活用力を学ぶ。また、演習系科目では、プロジェクト型学習等を通じて、「創造力と行動力」を身につける。 |
| 教育方法 | <ul style="list-style-type: none"> 1 講義系の科目においては、知識と技能を伝授するだけでなく、知識と技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2 演習系科目においては、創造力と行動力を育成するために、プロジェクト型学習等を実施する。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> 1 講義系の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。 2 演習系科目では、プロジェクトの実行課程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4 卒業判定は、各学部の履修規程に定められた基準によって行う。 |

アドミッション・ポリシー

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

- 1 知識・技能
各学科での学びにつながる基礎学力を備えている人
- 2 思考力・判断力・表現力等の能力
問題を多角的にとらえて、適切に判断し表現することができる人
- 3 主体性をもって、多様な人々と協働して学ぶ態度
目標・目的を定めて向上心を持って成長しようとする人

山梨学院大学では、「たくましく生きる力」を育成することを達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学全体の学位授与方針とする。

全学DP	法学部	経営学部	健康栄養学部	スポーツ科学部	国際リベラルアーツ学部
1	<p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①法学、政治学、行政学および隣接領域領域の専門知識、思考・分析スキルを修得し、民主主義社会の基本的価値を背景とするルールの創造的活用による問題解決を志向することができる（把握する力）。</p> <p>②社会の諸問題を理解するために、情報通信技術（ICT）を活用して必要な情報を収集し、論理的な分析（読解・思考・表現）をすることができる（考え抜く力）。</p>	<p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①経営・マーケティング・会計・経済の実践的な知識・技能の活用力を身に付け、社会の諸問題を複合的な視点から考察することができる（把握する力）。</p> <p>②社会の諸問題を理解するために、情報通信技術（ICT）を活用して必要な情報を収集し、論理的・批判的に思考し、創造的に判断することができる（考え抜く力）。</p>	<p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①管理栄養士として保健・医療・教育・福祉・介護等の多様な領域で必要とされる専門的な知識・技能を修得し、多角的な視点から社会の課題を分析・考察することができる（把握する力）。</p> <p>②食と健康にかかわる課題を解決するための論理的・創造的な思考力を身につけている（考え抜く力）。その思考を適切に言語整理し、情報通信技術（ICT）等を活用しながら他者とやり取りすることができる。</p>	<p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①スポーツ科学の学際的知識をもとに幅広い教養を修得し、社会を複眼的に捉えることができる（把握する力）。</p> <p>②スポーツの文化的価値の理解と言語スキルの習得を基盤とし、情報通信技術（ICT）等を活用しながら様々な事象に対して論理的・批判的・創造的に思考し、判断することができる（考え抜く力）。</p>	<p>【実践的な知識・技能・創造力・行動力】</p> <p>1.To Value Knowledge (Having high oral and written communication skills to be able to both comprehend and transfer knowledge) 口頭及び文書による高いコミュニケーション能力を修得し、有益な知識を効果的に伝達することができる。</p> <p>2.To Be Able to Adapt to a Changing World (Having critical, creative, problem-solving, intercultural skills, global and independent mindset to adapt to a changing world)</p> <p>批判的思考力・創造力・問題解決能力・グローバルな意識を身につけ、多様に変化する社会に適応し、貢献する意欲をもっている。</p> <p>3.To Believe in Collaboration (Having a disposition to work effectively and inclusively in teams)</p> <p>4.To Act from a Sense of Personal and Social Responsibility (Having good ethical and moral values to make positive impacts in the world) 個人的及び社会的な責任感を持ち、倫理的・道徳的な価値判断に基づいた社会貢献ができる。</p>
	<p>【創造力と行動力】</p> <p>③グループ活動やディスカッションを通じて問題解決や意思決定に主体的に参加することができる（協調する力）。</p> <p>④自己および社会を改善するために挑戦を続けることができる（挑戦する力）。</p> <p>⑤説明・提案を行うためのプレゼンテーションスキルを持ち、問題・課題の解決のために主体的に行動することができる（行動する力）。</p>	<p>【創造力と行動力】</p> <p>③グループ活動やディスカッションを通じて課題解決に主体的に参加することができる（協調する力）。</p> <p>④自己および社会を改善する方法を考え、それを実現するために失敗と挑戦を繰り返すことができる（挑戦する力）。</p> <p>⑤説明・提案を行うためのプレゼンテーションスキルを持ち、問題・課題の解決のために主体的に行動することができる（行動する力）。</p>	<p>【創造力と行動力】</p> <p>③管理栄養士の社会的使命を自覚して健康と生命に対する倫理観を有し、人々の多様な社会的・文化的背景を理解しようとする意欲を持っている（協調する力）。</p> <p>④自己を自覚して新しい知識・技能の習得に努め、それらを総合的に活用して社会に貢献しようとする意欲を持っている（挑戦する力）。</p> <p>⑤考えを的確に表現し、他者と協同して社会で役立つ成果を生み出すことができる（行動する力）。</p>	<p>【創造力と行動力】</p> <p>③スポーツの社会的意義を学んで多様な価値観を受容し、他者を尊重して協働する態度を身に付け、高い倫理観を備えることができる（協調する力）。</p> <p>④実体験を通じて獲得したスポーツの実践力を活かし、主体的に自身の成長と社会の持続的発展に寄与しようとする（挑戦する力）。</p> <p>⑤スポーツ科学を通じて得た知見を国内外に発信し、あらゆるフィールドにおける課題の解決に活かすことができる（行動する力）。</p>	
2	多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。	多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。	多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。	多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。	多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。
3	自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。	自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。	自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。	自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。	自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。
4	自己を理解し、他者との良好な関係を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。	自己を理解し、他者との良好な関係を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。	自己を理解し、他者との良好な関係を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。	自己を理解し、他者との良好な関係を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。	自己を理解し、他者との良好な関係を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する

CP1	法学部	経営学部	健康栄養学部	スポーツ科学部	国際リベラルアーツ学部
教育内容	<p>1 総合基礎教育科目においては、各科目群の履修を通じて、全学DPに掲げられた能力を身につける。</p> <p>2 専門教育科目においては、法学、政治学、行政学および隣接領域における専門知識、思考・分析スキルを学ぶ。またそれらを通じて、民主主義社会における基本的価値への理解を深め、ルールの創造的活用による問題解決の能力を養成する。</p>	<p>1 総合基礎教育科目においては、各科目群の履修を通じて、全学DPに掲げられた能力を身につける。</p> <p>2 専門教育科目においては、経営学と隣接領域に関する実践的な知識・技能の活用力を学ぶ。また、演習系科目では、プロジェクト型学習を通じて、調査・企画立案・プレゼンテーションの技能とプロジェクトを実行する創造力・行動力を身につける。</p>	<p>1 総合基礎教育科目（語学を含む）においては、社会を築く構成員としての幅広い教養を養い、大学で学ぶためのスキルと思考力、対人関係力、情報と機器を十分に活用できる能力を身につける。</p> <p>2 専門教育科目においては、管理栄養士として国民の健康栄養管理を担う意欲と質の高い専門知識・技術を養い、優れた栄養指導能力を身につける。また、地域に対応した健康増進および食育推進、食産業振興などの実践的な活動を展開できる能力を身につける。</p>	<p>1 総合基礎教育科目においては、各科目群の履修を通じて、全学DPに掲げられた能力を身につける。</p> <p>2 専門教育科目においては、スポーツ科学と隣接領域に関する実践的な知識・技能の活用力を学ぶ。また、実技・演習系科目では、各競技や各分野の実技・実践を通じて、創造力・行動力・指導力を身につける。</p>	<p>1 語学科目（アカデミック英語科目・日本語研究科目）、基幹教育科目、及び各科目区分から一定の科目を履修することにより、全学DP及び学部DPに掲げられた能力を身につける基盤を形成する。</p> <p>2 グローバルビジネス・経済学、政治学、人文教養、日本研究の分野を横断的かつ縦断的な学びから、批判的、創造的にグローバルな視点から思考し、協働して問題解決にあたる能力を身につける。</p>
教育方法	<p>1 法学、政治学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。</p> <p>2 演習系科目においては、情報収集・論理的思考、ディスカッション、プレゼンテーション技能と創造力・行動力を育成するために、プロジェクト型学習を実施する。</p>	<p>1 経営学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。</p> <p>2 演習系科目においては、調査・企画立案・プレゼンテーションの技能と創造力・行動力を育成するために、プロジェクト型学習を実施する。</p>	<p>1 講義を基本とする科目においては、専門知識や技術を伝授するだけでなく、その知識と技術の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。</p> <p>2 栄養管理の実践に関わる実験・実習・演習系科目（ゼミを含む）においては、知識や技術の習得に加えて、目標達成に向けた情報収集、計画・企画立案、プレゼンテーション、創造力・統率力・行動力を育成するために、プロジェクト型学習を実施する。</p>	<p>1 スポーツ科学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。</p> <p>2 実技・演習系科目においては、各競技や各分野の実践を通じて、創造力・行動力・指導力を育成するために、実践型学習を実施する。</p>	<p>1 各科目区分を通じ、講義及び演習双方の授業形態において、知識・技能を伝授すると同時にそれらの活用力を育成するため、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベート等のアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。</p> <p>2 実習科目においては、各分野において、企画・立案、実演、作品制作・制作を通じて、創造力・行動力・表現力を育成するために、実践型学習を実施する。</p>
評価方法	<p>1 法学、政治学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。</p> <p>2 演習系科目では、プロジェクトの実行過程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。</p> <p>3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。</p> <p>4 卒業判定は、法学部履修規程に定められた基準によって行う。</p>	<p>1 経営学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。</p> <p>2 演習系科目では、プロジェクトの実行過程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。</p> <p>3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。</p> <p>4 卒業判定は、経営学部履修規程に定められた基準によって行う。</p>	<p>1 講義を基本とする科目においては、知識の定着を測ることに加えて、その活用度も評価する。</p> <p>2 実験・実習・演習系科目では、プロジェクトの実行過程における行動とプロジェクトの成果に対するパフォーマンスで評価する。</p> <p>3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。</p> <p>4 卒業判定は、健康栄養学部履修規程に定められた基準によって行う。</p>	<p>1 スポーツ科学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。</p> <p>2 実技・演習系科目では、実行過程における行動評価と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。</p> <p>3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。</p> <p>4 卒業判定は、スポーツ科学部履修規程に定められた基準によって行う。</p>	<p>1 各科目区分の講義・演習科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力を口頭発表または論述（または双方）により評価する。</p> <p>2 実習科目では、実行過程における行動評価と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。</p> <p>3 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。</p> <p>4 卒業判定は、国際リベラルアーツ部履修規程に定められた基準によって行う。</p>

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

大学

知識・技能

各学科での学びにつながる基礎学力を備えている人。

思考力・判断力・表現力等の能力

問題を多角的にとらえて、適切に判断し表現することができる人。

主体性をもって、多様な人々と協働して学ぶ態度

目標・目的を定めて向上心を持って成長しようとする人。

学部

AP	法学部	経営学部	健康栄養学部	スポーツ科学部	国際リベラルアーツ学部
	<p>本学および法学部の教育理念・教育目標のもと、法学部では、次のような能力や態度を身に付けている人物を求める。</p>	<p>経営学部では、地域経済の担い手として、人々から信頼され、社会において幅広い分野で活躍できる自律的な能力を持った人を育成するため、高い知的好奇心に支えられた基礎的な学力を持った入学者を求める。</p>	<p>健康栄養学部では、食と健康を理解するうえで重要となる科学的基礎的な知識、また情報を正確に取得把握し分析する能力、および、栄養管理と給食経営管理を可能とする数的処理能力を身につけている人物を求める。</p>	<p>スポーツ科学部で求める人物は、ルールやマナーを尊重し、「大学生活をとおして幅広い教養と豊かな人間性を身に付けたいと願っている人」、「スポーツを行うこと、見ることに興味・関心がある人」を前提とする。</p>	<p>国際リベラルアーツ学部では、1) 意欲が高く熱心であり、2) 学問的な潜在能力と一定の学業成果を有し、3) 寛容な精神とともに、好奇心があり、批判的で柔軟な思考ができる、4) 本学部での学修に必要な基礎的な英語力と、英語の学習能力が備わっている人物、を求める。</p>
基礎的な知識技能	<p>大学での学修で必要となる基礎的・基本的な知識・技能、特に国語、外国語、数学の履修などを通じた読解力や思考力、コミュニケーション能力、地理、歴史、公民の履修などを通じた現代社会の仕組みや問題について一定の知識を備えた人</p>	<p>大学での学修で必要となる基礎的・基本的な知識・技能、特に、国語（文章の読解や作成）、数学（論理的思考や計算）、地理・歴史・公民（社会の仕組みの理解）の基礎知識を備えた人</p>	<p>健康の保持増進、疾病の予防と改善、栄養支援などの専門的な知識を学ぶ上で重要となる生物や化学、数学などの基礎学力および国語の文章読解力を備えている人</p>	<p>大学での学修で必要となる基礎的・基本的学力、運動能力を備えている人</p>	<p>ほぼ全ての授業科目を英語で学ぶために、入学時に高等学校課程修了程度の英語力を身につけていることを求める。また、幅広い教養科目を履修するため国語、数学、理科、公民、地理歴史の基礎的な事項について学んでおくことを求める。</p>
思考力・判断力	<p>社会で起きているさまざまな出来事に対する好奇心を持ち、問題に対して、知識や情報に基づいて筋道を立てて考え、その内容と結論を説明できる人</p>	<p>大学での学修、特に、企業事例の分析、地域課題への提言、インターンシップ等の能動的な学びに必要な高い知的好奇心、問題を分析する力、自らの考えを的確に伝える表現力を備えた人</p>	<p>食と健康に関わる課題の解決に必要な情報収集・分析能力や、具体的な提案に展開できる思考力判断力を備え、自己の考えを論理的に述べることができる人</p>	<p>スポーツや体育、健康に関わる今日的な課題を多角的に捉え、判断し、表現することができる人</p>	<p>批判的、創造的、自立的、グローバルな思考力を身につけ、自己の考えを英語及び日本語を用いて適切に表現ができる人</p>
主体性・多様性・協働性	<p>学校運営、クラス運営、クラブ活動、ボランティア活動などを通じて、多様な人々と協働しようとする姿勢や、資格取得など自分自身を成長させようとする向上心を持ち、目標に向けて主体的・積極的に学ぼうとする意欲を持っている人</p>	<p>幅広い分野に興味・関心を持って積極的に大学での学修に取り組み、教員・学生・社会人と円滑にコミュニケーションをとって自ら進んで学ぼうとする意欲を持った人</p>	<p>保健・医療・教育・福祉・介護の分野で活躍する専門職に就くという明確な目標と学問に取り組む強い意欲、向上心を有し、主体的に地域の課題を捉えて社会に貢献しようとする人</p>	<p>周囲と協働しながら、以下に示す課題を達成しようとする人 ①授業やスポーツクラブの活動をとおして、競技力や運動能力をさらに高めること。 ②授業やスポーツクラブの活動をとおして、スポーツ科学の知と技（指導能力、研究能力、科学的サポート能力、マネジメント能力など）を実践的に身に付けること。 ③大学生活で得た学修成果を、国内外のさまざまなスポーツ関連分野において活かすこと。</p>	<p>国際社会で活躍するため、異文化に対し好奇心を持ち、多様な文化的背景を持つ人々と協働して共通の問題を解決する意欲の高い人</p>